

名大の時間

人のためでもあり私のためでもあるボランティア活動

ランティア活動を通して少しずつ自分の行動範囲を広げていき、今では生き生きとした大学生活を送れていることを誇りに思っています。

まず、5年間部活のバレーボールに打ち込んでいた私にとってボランティア活動は無縁でしたが、学校授業で探究活動が始まった高校2年生から子ども食堂のボランティアに通うようになりました。

これをきっかけに自分の生き方や人間性を考え直すようになったと感じており、部活動でスランプに陥っていた私の気持ちにも機転をもたらしたと思います。

名寄市立大学は、地域との距離の近さやコミュニティの広さが強みだと感じて入学し、まず目に入ったのが援農ボランティアでした。たま

になつており、そこで出会った同級生は今では親友です。

別のアルバイトで知り合った地域の方が援農の農家さんの知り合いであったり、うちでも農作業の手伝いをして欲しいと声をかけられたりと、次々と私の縁や経験が地域と繋がっていき感覚にとてもやりがいを感じました。

型コロナウイルスの影響を受けて食事提供ができずに3年経ってしまいました。

しかし、居場所作りの意義ややりがいを感ずるきっかけとなったことから、年々数回の活動でもなるべく参加するようになりました。



参加しました。普段関わりがない学生との出会いや新しい地域へ踏み込んでいくのが新鮮で、今後

ランティア活動を経て伸びていったと感じています。

これら以外にも、下川町の教育委員会や士別市のしべつチャレンジスクールへの協力で泊まりがけのボランティアにも

就活の合間を練ってボランティアに参加したいと考えています。今年もたくさんの方に会えることが楽しみです。

栄養学科3年

葛西沙知

また、子ども食堂ボランティアは、新

発達や行動力は、ポ

私は、名寄市立大学に入学してから3年の月日をかけてポ